

36. 知って愉しむ淀川探訪科 (2024年度)

【 火曜日 授業予定表 】 講師: 中川一、綾史郎、鈴木康久、河合典彦、原田禎夫 他

		午 前			午 後			
回	月	日	曜日	テーマ	内 容	講 師 名	テーマ	内 容
1	8	月	①	①入 学 式 & オリエンテーション (合同、大阪国際会議場)				
2	4	16	火	1	淀川の自然と歴史①	淀川の自然・年間学習予定	河合典彦(国交省淀川環境委員会委員)①	自己紹介、年間学習・行事予定等の説明 クラスオリエンテーション
3		23	火	2	淀川の自然と歴史②	治水・河川生態系	河合典彦②	高大オリエンテーション 終了後班役割説明・班各担当・班長決定
4		14	火	3	★淀川左岸0キロ地点を歩く	河川0kmmを歩く、スーパー堤防、鴛宮神社	河合典彦③	校外学習続き
5	5	21	火	4	淀川の自然と歴史③	淀川大改修と副産物	河合典彦④	自主活動 クラス委員長決定、第1回遠足先行検討
6		28	火	5	★城北ワンド自然観察	旧堤防跡から城北ワンド群	河合典彦⑤	校外学習続き
7		4	火	6/⑥	★淀川大堰・排水機場・毛馬開門、講義と見学	旧毛馬第一開門・旧毛馬洗堰・沖野忠雄像探訪	河合典彦⑥	校外学習続き
9		11	火	7	未来のために知っておきたいプラスチックの話	未来のために知っておきたいプラスチックの話	原田禎夫(同志社大学経済学部准教授)①	自主活動 社会への参加活動準備(活動事例研究)、コーダイフェスタテーマ検討会
10		18	火	8	鶴殿のヨシ原	鶴殿ヨシ原の生物(植物、昆虫、鳥類等)とヨシ原の劣化と再生	綾史郎(大阪工業大学名誉教授/イゼンネット会長)	” フェスタ/班毎の実施テーマを決定
11		25	火	⑧	⑧遠 足 (1)			
12		2	火	9	暮らしを守る防災①	淀川の特性和治水について	中川一(京大名誉教授・元京大防災研究所所長)	自主活動 フェスタに向けた具体的行動
13	7	9	火	10	保津川の取り組み	レジ袋の廃止、新たなゴミ問題など亀岡市の状況など	原田禎夫②	” 同 上
14		16	火	11	暮らしを守る防災②	最近の異常な水害について	中川一②	” 同 上
	8			夏 休 み				
15	9	17	火	12	★京都大学防災研究所	宇治川オープンラボラトリー	川池健司(防災研究所流域災害研究センター准教授)	校外学習続き
16		24	火	13	江戸期における舟運と河川管理	文書と絵図から読み解く	鈴木康久(京都産業大学教授・カッパ研究会)①	自主活動 フェスタ発表作品完成、健康まつり対応
17		8	火	14	暮らしを守る防災③	今後の防災減災について	中川一③	” 健康まつり最終確認
18	10	17	木	④	④コーダイ健康まつり(日程、場所未定)			
19		22	火	15	京都鴨川追突	景観の変遷と河川域の活用	鈴木康久②	自主活動 フェスタ発表作品再確認、微調整
20		29	火	16	★三川合流の景観(さくらであい館)	河川整備による景観の変化	鈴木康久③	校外学習続き
21		12	火	17	★瀬田川洗堰(旧南郷洗堰)	水のめぐみ館 アクア琵琶	河合典彦⑧	校外学習続き
22	11	19	火	18	★琵琶湖疏水探訪	琵琶湖疏水記念館、南禅寺水路閣、蹴上院・インクライン	河合典彦⑨	校外学習続き
23		28	木	⑤	⑤コーダイフェスタ(日程、場所未定)			
24		3	火	19	★伏見と三桧開門	水位差調整の三桧開門と三桧開門資料館	河合典彦⑩	校外学習続き
25	12	10	火	20	★京街道文禄堤を歩く	旧堤防道、日本最古の堤防「亥田堤」の築場起源の堤根神社	河合典彦⑪	校外学習続き
26		17	火	21		自主企画講座		
				冬 休 み				
27		14	火	22	★淀川の野鳥観察	十三干潟付近	和田太一(NPO法人南港ウエッジランドグループ)	校外学習続き
28	1	21	火	⑥	⑥社会への参加活動・・・(仮日程:1学期~3学期の間に活動日を1回設定)			
29		28	火	23	「名所図会」のなかの淀川	三川合流地域の下流域(大阪府域内)	西野由紀(天理大学教授)	自主活動 成果発表会準備
30		4	火	24	★津波・高潮ステーション	ステーション見学、安治川トンネル通行、渡し船体験	河合典彦⑪	校外学習続き
31	2	18	火	25	水のまち大阪を巡る	絵画や作品から淀川の情景と魅力再発見	服部麻衣(大阪くらしの今昔館学芸員)	自主活動 成果発表会準備
32				学習成果発表会				
33		25	火	⑦	⑦修了式			
34	3	4	火	⑧	⑧・⑨卒業旅行(1泊2日)			
35		5	水	⑨				
授 業(自主企画、成果発表会含む)				26(講座数列1~26)				
学 習 事 業 (① ~ ⑨)				9(講座数列①~⑨)				
合 計				35				

2023. 9. 17

注) 1. 日程、カリキュラム内容等は、都合により変更になる場合があります。